

～ 令和6年度新入園児説明会 質問事項 ～

Q 1 夏休み期間中や土曜日の利用者数について

・夏休み期間中、7. 8月はご家族で旅行や里帰りされる方が多くいらっしゃいます。確かに利用される方が若干少なくはなりますが、お盆時期も含め、今は交代でお休みされますし、一番少なくて40名くらいでしょうか。園の職員も夏休み期間は休暇をとる者も多くありますので、このくらいの人数になりますと、3歳以上児、3歳未満児、それぞれ合同保育を行います。また、土曜に関しては、私共の園は土曜日利用人数がとても少なく、毎週5～6名ほどの方が登園しております。

Q 2 早朝保育・延長保育の利用者について

・早朝、7：00～7：30は利用者約10名、7：30～8：00までで30名ほどかと思います。夕方18：00以降の延長を使うお子さんは、5名～10名です。コロナ感染症後、働き方の変化もあってか、特に夕方の延長利用する方の人数が非常に少なくなっています。また、0歳児クラスは満1歳になってから延長保育を利用できます。

Q 3 クラス担任の人数について

・クラス担任は、0歳児2名、1. 2歳児2名、3, 4、5歳児も2名の複数担任制です。そのほか、非常勤の幼稚園教諭、保育士、保育補助者が担任たちをサポートしています。

Q 4 おむつの持ちかえりについて

・おむつの持ち帰りはございません。使用後のおむつは園で処理致します。

Q 5 おむつの定額サービスは（サブスク）

・今年度から、おむつの定額サービスを導入しております。0～2歳児までの約半数の方がご利用になっています。利用は1カ月単位で、入園までに保護者の皆様と「手ぶら登園」で行って頂きます。支払いについては園を通しません。料金は月額2,280円です。

Q 6 ベビーカー、抱っこひもの預かり

・ベビーカーは玄関スペースでお預かりします。屋外ですので、カバーをご用意ください。
紛失、破損等の責任は負いかねますのでご理解ください。抱っこ紐は個人のロッカースペースでお預かり致します。置いて行かれる保護者の方は多くお見えです。同じような品物お持ちの方も多いので、いずれも記名、ネームプレートなど、持ち主が分かるようにお願い致します。

Q 7 日々の連絡帳は手書き？アプリ？

・連絡帳はコドモンというシステムのアプリを使います。連絡帳、登園の打刻、身体測定等の記録、写真販売、アンケート、などほぼすべて、コドモンで対応いたします。

Q 8 お泊り保育の有無

・お泊り保育は行っておりません。

Q 9 PTAについて、保護者参加型の行事について

・PTA、保護者会活動もございません。保護者参加の行事ですが、親子バス遠足、スポーツフェスティバル、夏まつり、作品展、保育発表会、など年に数回ございます。今年度は、保護者の方にお手伝いをお願いする行事も少し設けております。あくまでも積極的にお手伝いをしたい！と思って下さるお世話が好きな方が中心で、強制ではありません。
そして3歳以上児のクラスになると、保護者の皆様同士が非常に仲良くなり、頻繁に家族会のような行事を行っておられるようです。

Q 10 行事の保護者の出席率、特にお父様の出席について

・各行事の保護者の出席率は、ほぼ100%です。お父様の出席率も非常に高いと思います。保護者どちらかお一人で、と、こちらからリクエストしない限りは、ほぼご両親でお見えになります。ちなみに、本園はお子さんの送迎時においてもお父様、お母様の率も半々かと存じます。お父様が0歳児の赤ちゃんを抱っこしてお連れになります。今や、本当にご両親ともに子育てに参画しているのが非常によくわかります。

Q11 慣らし（慣れ）保育について

・4月入園後は、0・1歳児は必ず慣らし保育の期間を設けて頂きたいと思います。園では2週間の慣らしの期間を設定しておりますが、これより長くても結構です。最初は1・2時間、お給食前、お給食後、お昼寝後と徐々に時間を長くしていく方が多いですし、担任もお子様本人の慣れ具合を見ながら、ご家庭と相談させて頂きます。いずれにしましても、完全に職場復帰となりましたら、長時間お預かりすることになります。ゴールが決まっていますので、その目標に向かって、担任と子供たち、お母様と一緒に園での生活に慣れ、笑顔で通ってくれるように援助していきます。

Q12 写真販売について

・行事の写真販売は、写真屋さんから販売です。日常写真につきましては、凡そ1ヶ月に1回程度、コドモンで販売いたします。毎日の連絡帳でお届けする写真やクラスの掲示写真なども販売してほしいとのお声を頂きますが、全てのご要望にお応えするとなると、手間を必要としますので、出来る範囲でご容赦いただければ幸いです。

Q13 お散歩の範囲について

・年齢によっても行く先は違いますが、年中・年長で一番遠いのは、お散歩と申しますか、本気で遊びに小金井公園まで、近くですと梶野公園や栗山公園、3歳未満児の場合は、緑公園や新しい市役所が立つ予定の蛇の目跡地、電車が見える線路のそばなどへも参ります。幸い充実した園庭がありますので、基本的には毎日園庭で遊びます。

Q14 外遊びと中遊びの工夫について

・特に遊びにおいて、全ての子どもたちに無理に同じ遊びを強いることは、今はしておりません。外で遊びたい子、中で遊びたい子、選んでそれぞれ好きな遊び、自由時間を過ごすことにしています。

Q15 真夏日の遊び方

・ここ数年、異常な暑さが続いておりますのを受けてのご質問だと思います。小学校等では熱中症アラートが出た際にはプール遊び含め外遊びは全面禁止していることは承知しております。体調の変化に注意しながらですが、園ではタープ日陰を利用して、プール遊び、水遊びを行っています。水温が34°Cを超えると危険とされていますので、そこを判断の

基準と致しました。また、お日様を浴びて気持ちよく体を動かすことは子どもの心身の発達に非常に有効です。一番暑い時間帯を避けて、ほんの15分でも外で体を動かす時間を持つてあげたいと担任たちは思っています。

Q16 食品アレルギーの対応について

・現在の在園児にも、多くのアレルギーを持っている子供たちが在園しています。除去、代替食で対応しておりますのでご安心ください。入園前にお医者様で診断書を記載してもらい、ご提出下さい。

Q17 給食の食べ進みについて

・食事は生きる上でも、人とのコミュニケーションにおいても、非常に重要なことです。まず、食事の時間が苦痛な時間であってはならないと考えています。一昔前、嫌いなものでも食べ終わるまで、何時間も一人で座らせて、といったことは、今は小学校でもほとんどないかと思います。食事の量についてもまずは自分が完食できそうな量に減らしたり、逆に増やしたりも出来ます。苦手なたべものも、ひとつち食べてみようといった促しは勿論致します。ほかのお友達が食べているのを見て食べられるようになる場合もありますし、全く受け付けないこともあります。完食できることは、子どもの達成感にもつながりますので、小食な子でもその成功体験が味わえるようにも致します。毎日、食べきる必要はありません。もう食べないと意思表示をすることも必要です。ある程度、時間は区切って、この時間以上になつたら、食事は片付ける（下膳する）、給食中にふざけて食べる時間が足りなくなつた、おかわりする時間がなくなつて怒つたり泣いたりした場合も、最初の約束通りに下膳をすることもあります。何事も経験ですので、何回か繰り返すたびに、昨日は失敗したから今日はちゃんと食べてから遊ぼうとなるでしょう。

Q18 入園に際しての持ち物や用意するものについて

・年齢によってご用意いただくものは変わって参ります。入園のしおりに記載がございますので、確認してみて下さい。保護者の方に特別に手作りして頂かなくてはならないものもありません。市販のもので十分対応できると存じます。

Q19 左利きの環境が整っているか

・左利き専門の保育者がいるわけではありませんが、左利きの子ども達は複数在園しています。勿論、右利きに替えるようなことは致しませんし、はさみなど右左選べるお道具につ

いて左用をご購入いただき、基本的な使い方の指導は右も左も変わりませんので担任が問題なくこなしております。

Q 2 0 兄弟児の発熱対応について

- ・単なる発熱の場合、兄弟児への登園自粛は求めておりません。但し、新型コロナウィルスの感染については、今は濃厚接触等の定義はございませんが、公衆衛生の観点からも罹患したご家族の療養期間中は登園を控えて頂くのが望ましいと思います。

Q 2 1 新型コロナ感染症が落ち着いてかわったこと、継続していること

- ・行事の保護者参加の人数を制限しなくなったり、机の飛沫防止パーテーションを取り除いたり、頻繁な検温、過剰だつ305F除菌作業をやめたり、縮小していた催しを元に戻したり、変わったことはたくさんございます。引き続き、手の触れる場所の定期的な除菌、朝の支度は職員で行うなど、継続しているものもございます。

Q 2 2 災害時の避難場所について

- ・災害時の第一避難場所は第三小学校、さらに危険と判断した場合には、広域避難場所の小金井公園へ参ります。子供たちを連れて園を離れる連絡はコドモンで送る予定ですが、大規模災害の場合、インフラは全て使えなくなる想定です。玄関に書きをして、避難場所へ向かいます。いずれにしましても、保護者の皆様に無事にお引渡しするまでは、私たちが責任もってお預かりしております。

Q 2 3 卒園後の園との交流について

- ・卒園後、その年の行事には卒園生にお声がけさせて頂いております。昨年からスポーツフェスティバル（運動会）に卒園児の出場枠を設けました、先日の夏まつりも招待しました。いつもたくさんの卒園生が遊びに来て、久しぶりに会うかつての担任やお友達と楽しんでおりました。また、兄弟姉妹児の在籍がとても多いですので、卒園した後も、送迎の際などよく顔を見せてくれます。とても嬉しいことです。卒園児も増えて参りましたので、今後もより充実させていきたいと考えています。

Q 2 4 障害のあるお子さんの受け入れについて

・先ず、余裕を持った加配対応の人員を現在のところ確保できておりませんので、障害をお持ちの方の入園枠を本園は設けておりません。ただ、その支援、援助については個人差がございますし、物理的に園で出来ること出来ないことがあります。一旦、ご相談ください。本園は二階建て、園にはエレベータの設置がありませんので、歩行が難しいお子さんのお入園は難しいかと存じます。

Q 2 5 保育施設での不適切保育について

・子供たちをお預かりする者として、あってはならないことだと思います。一つは保育者個人の資質の問題、二つ目は保育者全体、仕事量や求められることが多く、時間的また精神的余裕がないこと、三つ目にそういう言動を許す周りの環境もあったのではないでしょうか。乱暴な言葉は、使い続けると日常になり、指摘されなければどんどん助長していきます。ストレスが溜まって心身が疲れていたなど言い訳にもなりません。まず休暇を取り、自分自身をリセットし、自らの行為に対してこれで良かったのか常に問い直すことが必要です。本園の職員に限って、とは思いたいですが、気をつけなければ誰しも陥る可能性があります。保育者・教育者としての自覚を持ち続け、時々、どうしてこの職業についたのか、“子供が好きで子供の成長に携わることの出来る職だからだったんだ”と思い返せる余裕がもてるよう、人手不足で大変厳しいなかですが、出来る限り人的にも配置をするのが私の役目だと思います。

Q 2 6 年少クラス（幼稚園）の募集人数と選考方法について

・毎年、3歳幼稚園籍の募集人数は13名です。そして今年の入園面接は11/2（土）、1日のみでおこないます。ほぼ全ての方が、他の園と併願されていること、そして私共の園を希望されて、もしも入園内定とならなかった際に、他の園への手続き等が間に合うようにというスケジュール的なこともあります。入園面接はお子さんにも勿論質問致しますが、まだ3歳前後の子供たちですので、答えられなかったり、走り回ったり、泣き通しになったり、色々です。そういう際の保護者の皆様のお子さんとのやり取りや声掛けなどを見させて頂いております。ご家庭でお子さんに受けさせたい保育・教育と本園の方針が合致しているか、また、費用的な面も納得頂いているかといったことを確認させて頂いております。面接担当者から何かお聞きになりたいことがありますか？と尋ねた際には、遠慮なく、質問して頂いた方が、保護者の皆様のお人柄やご家庭の様子、お子さんの様子が分かって私共も大変助かります。

Q 2 7 現在保育園に在園中で3歳幼稚園での入園は可能か

- ・現在、保育園に在園中であり、3歳以上で本園幼稚園への転園、全く問題ございません。大変光栄なことと存じますし、嬉しく思います。但し保育認定をお持ちであっても、籍は幼稚園ですので、延長料金(一時預かり保育料)は一旦、園に納めて頂く必要があります。その後、年に2回、10月と5月に小金井市から皆様へ直接、還付されるシステムです。

Q 2 8 保育園籍で入園後3歳以降幼稚園籍への異動

- ・はい、可能です。保育の認定基準を満たさなくなるということでしたら、3歳クラスに上がる前に、市役所へ保育の利用解除届を提出して頂き、幼稚園の利用申請届を提出致します。このご質問の趣旨として、幼稚園で導入しているカリキュラムを受けたいので、3歳からは幼稚園籍へ異動したいということでございましたら、3歳以上、保育園籍幼稚園籍、全員同じカリキュラムを組んでおります。そのために異動をして頂く必要はございません。

Q 2 9 日本語をお話しできないご家族の送り迎えについて

- ・はい、可能です。連絡帳はアプリ機能コドモンを使っていますので、担任へ伝えること、またこちらからお伝えすべきことは連絡帳で行います。送迎時のコミュニケーションが難しい場合は、より詳しい情報をコドモン連絡帳でお伝え頂き、私共の方も丁寧にお返しするようにいたします。